

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2020年9月6日



後期高齢者医療の、当面の改善課題を指摘

問題点その①高い保険料を安くせよ、減免拡充を

②傷病手当金の対象拡大を

③国の、窓口負担2割への値上げ方針の撤回を

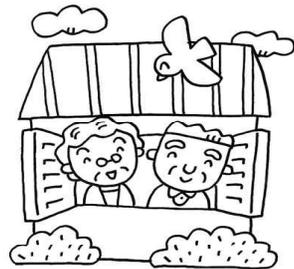
④コロナから、特に高齢者の命を守れ

Ⅱ 後期高齢者医療保険広域連合議会にて井上議員が請願を紹介Ⅱ



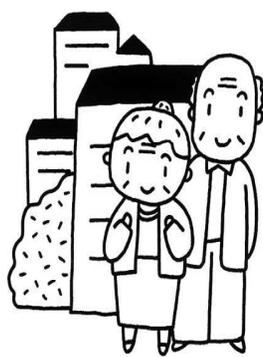
請願者の方等からの手紙

請願の紹介中、井上議員が引用した、請願者の方等から寄せられた手紙の抜粋を紹介します。



「高い保険料と加齢による体調不良による窓口負担が心配、2割になればしんどくてもお医者さんに行けなくなります。介護保険もデイサービス週3回が希望ですが、利用料が高くて支払いができないので2回にしています」。

「長男は難病、妻は後遺症、私は心臓の持病があります。家族3人とも体力免疫力が落ちいつ感染してもおかしくない状況におかれています。無償でPCR検査を受けられるようにして下さい。感染を防ぐ為にどうすればいいのか判断としない。希望者全体に無償で検査を。この点が抜けているのではないか。明確な政策を示してほしい」……。



②号は傷病手当金の対象拡大を求めるもの。対象拡大を求めると、自営業者だけでなく、コロナ以外の一般の傷病にたいしても対象にすべき。請願③号は、久御山の住民から提出されたもの。国の、一部負担金（窓口負担）2割への値上げ方針の撤回

や、コロナ危機から高齢者の命を守る施策の充実を求める内容。保険料も一部負担金も値上げでは踏んだり蹴ったり。仏・英国などでは窓口は無料。2割になれば窓口は無料。重症化、命にもかかわる事態も。検査の促進・対象拡大、及びその為の体制の確立を。全国知事会等でも「いつでもどこでも」との声を。お金の心配なく検査できる仕組みと体制を。高齢者の皆さんへの検査も必要。被保険者の命と健康を守る為、請願採択を。

8月28日、京都府後期高齢者医療広域連合議会が開かれ、井上けんじ議員が、三本の請願を紹介、採択を呼びかけました。賛成多数で「採択」なら、住民代表の議会も、同じ考えだとの意思表示をし

たことになりません。残念ながら三本とも不採択でした。しかし請願が三本も寄せられ、議員がその趣旨を紹介、当面の問題点が浮き彫りになったことなど、大きな意義がありました。井上議員の紹介の要旨を紹介

介します。請願①号②号は、社会保障推進協議会から提出されました。①号は、保険料引下げと減免制度拡充を求めた。今春、保険料が大幅に引き上げられた。税金や保険料が

申請により市民税の半減が実現!!

コロナで退職を余儀なくされたAさん。市民税の半減が実現。井上議員もお手伝い。

| | 申請前 | 申請後 |
|-----|---------|---------|
| 第2期 | 19,900円 | 10,900円 |
| 第3期 | 17,000 | 8,000 |
| 第4期 | 17,000 | 8,000 |
| 計 | 53,900 | 26,900 |

